

戦後改革期に教科書会社から刊行された教育雑誌 (11)

— 実業教科書株式会社の『高校教育』誌 (Ⅳ) —

尾 高 進
丸 山 剛 史

Journal Published by Textbook Publisher
under Educational Reform after World War II (11)

ODAKA Susumu, MARUYAMA Tsuyoshi

本報は前報までに続き、戦後改革期に実業教科書株式会社（1950年8月、実教出版株式会社に改称）から刊行された教育雑誌『高校教育』に関して検討しようとするものである¹。本報では紙幅の関係により、第12巻（60年）から第14巻（62年）までの目次を収録した。

前報で述べたように、『高校教育』誌は、1949年7月、『商工教育資料』を改題した雑誌として刊行され始めた。しかし、改題後2年も経たない50年12月に第3巻第12号をもって「一時休刊」となった。そして休刊から約1年半後の52年5月に復刊し、第4巻第1号が発行された。

前報で言及しているとおり、この雑誌の性格については、いくつかの特徴が指摘できるように思われる。

第一に、休刊前と復刊後の紙面の性格について。休刊前は、「各科学習指導について」や「ワークショップ」、「年間計画」や「生徒活動」、「読書指導」といった各種の指導法や、「総合高校と職業教育について」、「青年不良化の諸問題」、「新教育と学力低下の問題」などの各種のトピックについて、毎号特集が組まれていた。それに対して復刊後は、例外はありつつも（「社会科問題特集」第5巻第9号、「高校理科改訂要綱」第7巻第2号等）、特集が組まれ

¹ 丸山剛史・尾高進「戦後改革期に教科書会社から刊行された教育雑誌 (10) — 実業教科書株式会社の『高校教育』誌 (Ⅲ) —」『工学院大学研究論叢』第49巻第1号、2011年10月、73-84ページ。なお、本報では、丸山が目次の作成を行い、尾高が丸山と協議の上、解説を担当した。

ていない。すなわち、特定の編集方針をもたず、やや分散的な紙面構成となっているように思われる。これは、第4巻第1号掲載の「復刊のことば」(専務取締役・水谷三郎執筆)に以下のように記されていることと合致する²。前報と重複する部分もあるけれども、引用する。

「しかし、今回は、カミシモを着ずに、自由な編集をすることにしました。執筆者には特定の問題についてお願いせず、むしろ執筆者御自身の御判断によって、問題を提供していただくことにしようと思っております。また執筆者をできるだけ自由に選び、有名無名を問わず、場合によっては、専門外の人にもお願いすることも考えています。専門外の人々が案外適切な問題を提起する場合も、他の例にはたくさんあって、教育だけがその例外ではないと考えるからです。／問題を限らない結果は、随想になったり、時として漫筆になることもあるかもしれません。しかし先生方にとっては、第一ページから最終のページまでが、教育問題で埋められていなければならないとは限らないかと考えます。時として読みものもあることが、むしろこうした専門雑誌としてはよい場合もあるかと思います。／むしろ、復刊の『高校教育』は、先生方が、通勤の乗物の中で、あるいは授業の寸暇に、一ページ、一篇を気軽に読み切れるような文章で、毎号を編集しようかと思っています。」

第二に、復刊後の紙面について。

まず目につくのは、復刊した年(1952年)は、宮原誠一が毎号紙面に登場し、特に社会科の問題について、論考を発表したり対談を行ったりしていることである。

次に、復刊後の紙面では、特集が組まれないことが通例となったけれども、例えば各教科の指導法に関する記事は全くなくなってしまったわけではなく、第8巻第10号以降に、「教授資料」という形で、掲載されていることである。ただし、毎号継続的に掲載されてはおらず、しかも、掲載されている教科は、化学、生物、商業にほぼ限定されている。

さらに、第10巻第1号以降には、「実践報告」ないしは「実践記録」が掲載されていることが指摘できる。しかしこの記事も、テーマを定めたり、毎号継続的に掲載されているというわけではない。

復刊後の紙面については、統一した編集方針をみいだすのは少々困難のように思える。これは、先に引用した「復刊のことば」の次の部分に関係しているかもしれない。

「しかし、これは、おそらく長続きしないかもしれません。この種の雑誌は編集者が一方的に企画して、読者に押付けるべきでなく、読者の要望にしたがって編集さるべきものだからです。つまり、程なく先生方の御希望の方向に編集方針が動いていくことを予想する次第です。／したがって、どんな問題でも結構ですから、どなたも、自分たちが編集するというお考えの下に、御意見をお寄せくださることを切にお願いいたします。」

第三に、休刊前も復刊後も、そのトーンは一樣ではないにしても、一貫している点とし

² 水谷三郎「復刊のことば」『高校教育』第4巻第1号、1952年、1ページ。

て、次の2点が指摘できよう。1) 高校卒業後の進路、とりわけ大学入試に役立つことを謳った記事が掲載されていること（例えば「進学者のための各科の指導」第2巻第11号、「入試特集」第6巻第2号等）。2) その時々学習指導要領の要点や解説記事が掲載されていること（例えば「各科学習指導要領の方向」第3巻第12号、「特集 学習指導要領改訂草案の要点と解説」第12巻第8号等）。

資料.『高校教育』誌目次集(1960-1962年)

- ・本日次集を作成するにあたっては、編者(丸山)が所蔵機関に出向き現資料を確認した。
- ・所蔵機関名を巻号・発行年月右横のカッコ内に記した。
- ・執筆者名右横のカッコ内の数字はページ数を表す。

第12巻第1号:1960年1月1日

(北海道大学附属図書館)

- 家庭科教育の振興を 石三次郎 (1)
 高校家庭科はどうあるべきか 片山芳子 (5)
 実態調査・列車通学生の実態と問題点

成田午次郎・今井春男 (10)

- 日本の工業・自動車工業 Y・M (16)
 国際政治経済展望・1960年の焦点

—東西頂上会談— 諏訪良二 (24)
 生物教授資料・性神経 井上清恒 (26)

- 高校評判記・神奈川県立津久井高校 岩谷生 (9)
 続・教科書談義 水谷三郎 (20)

- 統計・昭和33年都道府県別人口とその増減 (64)
 実教歌壇 宮柊二選 (23)

- 実教俳壇 石田波郷選 (30)
 漫画・1960年高校教育はつゆめ 古川竜三 (15)

- 実教教育ニュース (22)
 理科特修

座談会・科学教育と技術教育
 司会 高木純一 (35)

- 高校理科の教育課程について 岩岡順三 (31)
 生物の実践・生物実践50年 槌賀安平 (41)

- 物理の実践・物理部クラブ活動の断片
 内村太郎 (44)

- 化学の実践・化学実験室の活動から 福島隆 (47)
 師弟対談

- 生物の学習と指導 都立上野高校 (50)
 物理の学習と指導 都立九段高校 (55)

- 化学の学習と指導 都立新宿高校 (60)

第12巻第2号:1960年2月1日

(北海道大学附属図書館)

まず主体性の確立

—高校道徳教育の周辺をさぐる— 谷萩操 (1)
 調査 道徳価値観調査の結果について 原茂介 (4)

- 古典と漢文 青木要 (10)
 世界史実践余録 阿部佐一郎 (11)

- 就職戦線異状なし T・T (12)
 科学者と音楽 萩原弘毅 (20)

- 学校と会社の間 山岸竜臣 (20)
 校庭の粋人達 一之瀬尚 (21)

- 家事の手伝いをさせよう 塚本生 (22)

実践報告 補欠授業対策と備品分類・管理について

三浦勇二 (14)

- <国際政治経済展望>為替・貿易自由化の役割と意義
 諏訪良二 (18)

- 生物教授資料・性神経その他 井上清恒 (28)
 高校評判記・宮崎県立延岡商業高校 K・S生 (9)

- 続・教科書談義 水谷三郎 (24)
 統計・世界米生産高・世界小麦生産高 (32)

- 実教教育ニュース (26)
 漫画・2人乗りはいけない 納富義昭 (8)

- 実教歌壇 宮柊二選 (23)
 実教俳壇 石田波郷選 (27)

第12巻第3号:1960年3月1日

(北海道大学附属図書館)

- 教師像の問題 盛口婦美 (1)
 研究報告 国語科指導の深化 岡田貞義 (4)

- 万葉多摩の二首に題す 高橋圭三 (12)
 さいはての冬 入江澄夫 (13)

- しとすることもおかしかりけり 渡辺正 (14)
 高校生の服装と頭髪について 江見哲 (15)

- 漢文教育について 西村俊介 (20)
 力に応じた英語を 小林進 (21)

- “先生”という呼び名 S・S生 (23)
 実態調査 定時制高校の特別教育活動について

- 中川勝義 (8)
 高校評判記・沼津女子商業高校 中野忠 (7)

- 国際政治経済展望・日本の地位 諏訪良二 (23)
 生物教授資料・ロシア生物学の発端 井上清恒 (28)

- 統計・国民総支出と投資率推移 編修室 (32)
 続・教科書談義 水谷三郎 (18)

- 実教教育ニュース (24)
 投稿漫画・所持品検査“何だそれは” 納富義昭 (23)

- 漫画・蛍の光、窓は春 古川竜三 (6)
 実教歌壇 宮柊二選 (17)

- 実教俳壇 石田波郷選 (25)

第12巻第4号:1960年4月1日 (国立国会図書館)

- 学校図書館と学習の問題 まさきひさえ (1)
 <教授資料>ロシア生物学 (2) 井上清恒 (8)

- 続・教科書談義 水谷三郎 (6)
 高等学校教育課程の改善について

教育課程審議会答申 (13)

- 実教歌壇 宮柊二選 (5) <生物教授資料>ロシア生物学 (4) 井上清恒 (26)
 実教俳壇 石田波郷選 (12) 続・教科書談義 水谷三郎 (18)
 数学科特修 実教歌壇 宮柊二選 (9)
 数学教育今後の課題 福原満洲雄 (1) 実教俳壇 石田波郷選 (14)
 新教材への一試案 鈴木七緒 (4) 付録 36年度用教科書目録 (横組1-18)
 Dedekindの実数論 斎藤利弥 (9)
 数学教育雑思 公田蔵 (13)
 高校の数学教育の改定について 武藤徹 (17)
 数学教育と受験 川口菊夫 (21)
 高等学校数学科の新教科課題への問題点 三輪辰郎 (25)
 数学指導の一体験 田中忠一 (29)
 点・線・面のEulerの定理 船山良三 (31)
 正17辺形の作図について 所沢久雄 (33)
 <てい談>技術革新と数学教育 岸田純之助・斎藤力・武藤徹 (37)
- 第12巻第5号：1960年5月1日
 (北海道大学附属図書館)
 女子高校生の問題のふまえ方 入江春行 (1)
 こころの教師 新井田勝頼 (4)
 <高校評判記>
 千葉県立一宮商業高校 遠藤記 (6)
 興譲館高校 (岡山県) 坂本碧生 (8)
 ガイダンス再提唱 境哲雄 (10)
 実教歌壇に思う 岡田貞義 (11)
 スポーツで救うということ 井口祐夫 (12)
 ある作文 中村菊一 (14)
 女子のお茶くみについて 栗田収 (15)
 読書今昔風景 伊東典郎 (16)
 <生物教授資料>ロシアの生物学 (3) 井上清恒 (18)
 国際政治経済展望・頂上会談を前にして 諏訪良二 (22)
 続・教科書談義 水谷三郎 (20)
 実教歌壇 宮柊二選 (5)
 実教俳壇 石田波郷選 (9)
 付録 36年度用教科書目録 (27～59)
- 第12巻第6号：1960年6月1日
 (北海道大学附属図書館)
 私の作文教育は多角的 岡田貞義 (1)
 山村の高校における視聴覚教育 神宮譲 (5)
 農業教育における素材の選択について 和田文吉 (10)
 定時制の国語指導と教科書の問題 仁枝忠 (15)
 ペカンベ祭り 富永慶一 (20)
 鋼を削る先生達 平井仙一 (22)
 鞆と威厳 失名氏 (23)
 自由詩・漁士 海住郎 (25)
- 第12巻第7号：1960年7月1日
 (北海道大学附属図書館)
 家庭科特修
 家庭科の増築と改築 小柴貢 (1)
 家庭科の転回点 塚田淑子 (6)
 これからの被服教育 片山芳子 (8)
 繊維製品の消費の新しい動向 小川安朗 (12)
 家庭生活の根本理念とその技能を授けるもの 亙理ナミ (16)
 食中毒に関して 橋本英一 (17)
 被服教育について 桑沢洋子 (19)
 実践報告・調理学習の一こまから 梶原房子 (23)
 続・教科書談義 水谷三郎 (28)
 実教歌壇 宮柊二選 (5)
 実教俳壇 石田波郷選 (30)
 付録・教科書目録 (31)
 付録・新指導要領中間発表 (65)
- 第12巻第8号：1960年8月1日
 (北海道大学附属図書館)
 特集 学習指導要領改訂草案の要点と解説
 国語 森本元子 (1)
 倫理・社会 蜂須賀孝 (7)
 政治・経済 榎村順雄 (10)
 日本史 高橋昌郎 (13)
 世界史 金沢誠 (15)
 地理 木谷正夫 (17)
 数学 船山良三 (20)
 物理 山本国太郎 (28)
 化学 白井俊明 (32)
 生物 大滝末雄 (35)
 地学 鈴木康司 (37)
 外国語 ST生 (41)
 家庭 片山芳子 (44)
 特活の改訂 間瀬正次 (49)
 続・教科書談義 水谷三郎 (26)
 実教歌壇 宮柊二選 (40)
 実教俳壇 石田波郷選 (43)
- 第12巻第9号：1960年9月1日
 (北海道大学附属図書館)
 座談会 就職する人々に望む (1)
 事業内訓練との連携は是か否か 本田保夫 (10)

38年度「生物」改訂指導要領について 井上清恒 (14)

<高校評判記>北海道稚内商業高校 松沢聡 (9)

<実践報告>備品の管理事務 藤田不二雄 (16)

歴史教育における人物の取扱い

加畑一夫 (18)

<研究報告>重い球と軽い球 相馬邦義 (21)

随想・富士 金津秀一郎 (26)

自由詩・鍛工 平井仙一 (13)

<生物教授資料>ロシア生物学 (5) 井上清恒 (29)

続・教科書談義 水谷三郎 (24)

実教歌壇 宮柊二選 (20)

実教俳壇 石田波郷選 (28)

第12巻第10号：1960年10月1日

(北海道大学附属図書館)

高等学校保健体育科

学習指導要領改訂草案の要点と解説 坂井田逸治 (1)

高等学校学習指導要領改訂草案

社会科日本史について 質問および意見

日本史教育研究会 (4)

高校ホームルームにおける進路指導の進め方

横田弘之 (8)

定時制の教科書問題について 中川勝義 (16)

青少年非行問題のポイント 荻沼素 (18)

<研究報告>進路指導におけるカウンセリングの機能

と技術 徳丸五郎 (13)

<実態調査>高等学校生との保護者は卒業後の進路を

どう考えているか 相馬進 (22)

<高校評判記>島根県立大東高校 西村■ (34)

就職試験 勝又義太郎 (28)

君、工学には質量はないよ 折井一 (29)

夜学生たち 宮田三喜 (30)

読みちがえ K.H.生 (31)

もう一度考えてみよう 磯野親男 (32)

漢詩 熊田守拙 (19)

<生物教授資料>ロシア生物学 (6) 井上清恒 (36)

続・教科書談義 水谷三郎 (20)

実教歌壇 宮柊二選 (27)

実教俳壇 石田波郷選 (35)

統計：消費者物価指数 (40)

第12巻第11号：1960年11月1日

(北海道大学附属図書館)

国語科のあり方 伴一幸 (1)

農業教育の目標 内藤豊三郎 (4)

Y主事の言葉 入江澄夫 (8)

ベントナイトについて 小林二三雄 (10)

民主的人間と世界史教育 杉山勝 (14)

<実践報告>視聴覚教育の効果測定とその分析の一例

桐生市商業視聴覚研究会 (27)

歌仙桜 竹田一郎 (20)

私学に生きる 松宮敬 (21)

高校教育への垂訓 小林高寿 (22)

わが山恋の記 中村秋雄 (24)

まい子 小松原弘 (25)

一つの提案 五十嵐登 (26)

自由詩・苦悩 上野明達 (6)

続・教科書談義 水谷三郎 (18)

実教歌壇 宮柊二選 (7)

実教俳壇 石田波郷選 (12)

<書評>「子どもの性教育」「むだのない働き方の科

学」 (13)

<統計>昭和34年主要人口統計 (32)

第12巻第12号：1960年12月1日

(北海道大学附属図書館)

アメリカの高校図書館について

神奈川県立川崎高校 (1)

現代農高生気質 兼杉博 (8)

アメリカの農民生活の一断面 飯塚博久 (10)

<創作>夏の終り 西村■ (26)

道に達した人の言葉 柳原吉次 (14)

留萌の旅から 篠原千重子 (14)

会計当面而已 宗像康夫 (16)

加速度 大川正晃 (17)

北海道サマースクールに出席して 今井春男 (19)

ぼくの細道 阿部祖海 (20)

高校生と読書 西山民雄 (21)

数学教育への一つの提案 小松原弘 (22)

続・教科書談義 水谷三郎 (12)

実教歌壇 宮柊二選 (23)

実教俳壇 石田波郷選 (25)

<新刊紹介>二つの英語学習書 (24)

第13巻第1号：1961年1月1日

(愛知教育大学附属図書館)

高校通信教育について 朝日稔 (1)

現在の高校教育における一つの問題点

恒川一道 (6)

<実践記録>高校一年生 吉羽一夫 (10)

露伴の実験 加藤富一 (14)

雪崩 篠原千重子 (4)

新指導要領と草案はどちらがうか

数学 船山良三 (18)

物理 山本国太郎 (20)

化学 白井俊明 (23)

生物 大滝末男 (25)

体育	坂井田逸治 (26)	第13巻第4号: 1961年4月1日	
新指導要領と草案の相違点対照表	(29)	(横浜国立大学附属図書館)	
続・教科書談義	水谷三郎 (16)	家庭科技術検定について	倉林フミ (1)
実教歌壇	宮柊二選 (5)	処罰についての再考察	青木明人 (8)
実教俳壇	石田波郷選 (13)	卒業・進級の諸問題	伴一幸 (12)
<統計> 1959年主要国別世界人口統計	(32)	<実践報告> 作文教育から人格転換へ	中金満 (26)
		<創作> 停年	藤井佑治 (30)
第13巻第2号: 1961年2月1日		<高校評判記> 福島県立磐城女子高校	T.T.生 (7)
(愛知教育大学附属図書館)		偉い人より立派な人に	塚本克巳 (18)
新「地理」の教授資料としての太平洋に関する一試論		村の分校	高橋智竜 (18)
	小林高寿 (1)	わかりきった大発見	平井仙一 (19)
ふたたび定時制の教科書問題について	萱沼素 (6)	読書指導について	田波又男 (20)
<実践記録> 高校一年生	吉羽一夫 (10)	ある成長率	奈良英夫 (22)
新指導要領と草案の相違点対照表	(26)	本能	中野国芳 (23)
<高校評判記> 栃木県立宇都宮女子高校		歌う修学旅行	品川誠 (24)
	小川和佑 (8)	殉職	上野明達 (6)
都会の駅の階段で	水谷清 (16)	続・教科書談義	水谷三郎 (16)
定時制高校商業科研究授業に寄せて	松田和夫 (18)	実教歌壇	宮柊二選 (15)
山崎宗鑑と一方法	市原輝士 (19)	実教俳壇	石田波郷選 (25)
図書館教育の一方法	打越賢郎 (20)		
定時制っ子	鳥井健太郎 (21)	第13巻第5号: 1961年5月1日	
二世の先生	一之瀬尚 (22)	(横浜国立大学附属図書館)	
さよなら	山浦篤 (22)	商業教育にケーススタディの導入を	岩田正彦 (1)
続コロンブスの卵	折井一 (23)	「暗記と理解」の問題点	青柳忠克 (5)
続・教科書談義	水谷三郎 (14)	選職に興味を生かすの記	谷桜夫 (8)
実教歌壇	宮柊二選 (9)	<実践記録> 高校一年生	吉羽一夫 (10)
実教俳壇	石田波郷選 (25)	<研究報告> リニヤプログラミング	北村幸男 (20)
		<創作> 安枝の就職	伊東典郎 (26)
第13巻第3号: 1961年3月1日		続百鬼昼夜行	大貫徹也 (16)
(愛知教育大学附属図書館)		それから一年	高木白 (18)
修学旅行の問題をめぐって	長嶋恒義 (1)	わが家のアマゾン	鈴木八郎 (19)
商業教育に思う	勝又義太郎 (6)	文法学習への一つの提案	獅子原正 (30)
暗記と理解	黒木義男 (8)	実教歌壇	宮柊二選 (15)
暗記一辺倒の「商品」からの解説	寺尾八郎 (10)	実教俳壇	石田波郷選 (25)
農高を卒え巣立ち行く A君へ	兼杉博 (12)	37年度用教科書目録	(31)
<実践報告> 商業科「商品」という名の科目について	桜井薫 (14)		
中原中学校の思い出	原田門喜 (27)	第13巻第6号: 1961年6月1日	
科学と道徳	萩原弘毅 (18)	(横浜国立大学附属図書館)	
カンニング	坂本徳二 (19)	<実践報告> 英語学習の一つの試み	上田潤 (1)
漢文教授をどうすればよいか	及川量進 (20)	観光阿寒の表情	富水慶一 (6)
百鬼昼夜行	大貫徹也 (21)	家庭科技術検定への批判	白石文男 (10)
いとこと私	和田治 (22)	<創作> 足摺岬夫婦漁夫	山元良人 (22)
ちょっと感じていること	五十嵐登 (24)	実教歌壇	宮柊二選 (5)
七年目におもう	岡田貞義 (24)	実教俳壇	石田波郷選 (9)
教員室	鈴木八郎 (25)	猟銃のことなど	小川和祐 (14)
実教歌壇	宮柊二 (5)	一年の珠算	山口利助 (15)
実教俳壇	石田波郷 (26)	何のために教えるのか	井口祐夫 (16)
<統計> 都道府県別昭和35年国勢調査人口その他		露伴のしつけ	加藤富一 (18)
		家庭・学校・教師	中村阿岐雄 (17)

- 重責と恐れ 岡田貞義 (20) 音階の数学 小木曾四郎 (31)
 王昭君について 加畑一夫 (21) 「問う」ということ 松岡繁 (18)
 墓標 笹川志津江 (10) ロクでなし 阿部祖海 (19)
 続・教科書談義 水谷三郎 (12) 書と私 宗像康夫 (20)
 <統計>世界の大都市人口 (24) 本校の卒業論文 森俊彦 (22)
 37年度用教科書目録 (横組1-16) これからの数学教育 黒田寿郎 (23)
 続・教科書談義 水谷三郎 (16)
 実教歌壇 宮柊二選 (24)
 実教俳壇 石田波郷選 (25)
- 第13巻第7号：1961年7月1日
 (横浜国立大学附属図書館)
- 商業課程の中の国語 糟谷奨 (1)
 生徒指導は揺れる 秋庭久嘉 (5)
 「えぐね」と「きづま」 池田雅美 (10)
 歴史地図の意義と作図例2、3 小林高寿 (23)
 青丹先生と生徒のノート 中村菊一 (29)
 新任主事の所感 川向正峰 (14)
 教育のあり方 友定節 (15)
 書かせる 鎮国雄 (16)
 人ちがい 水谷清 (17)
 人事異動 大川正晃 (20)
 高等貧民 江見哲 (21)
 送金方法のむだをなくそう 田島達哉 (23)
 続・教科書談義 水谷三郎 (12)
 実教歌壇 宮柊二選 (9)
 実教俳壇 石田波郷選 (22)
- 第13巻第8号：1961年8月1日
 (横浜国立大学附属図書館)
- 教員の定年退職と老人問題について 萱沼素 (1)
 定時制高校の長欠者と退学者の現状 村井蕃 (8)
 評定法と試験結果の反省 三浦勇二 (28)
 高校一年生 吉羽一夫 (12)
 青丹先生と家庭訪問 中村菊一 (26)
 教科指導と生活指導 森嵩正 (18)
 対卒業生秘策漫想 山口新夫 (19)
 「的」という字 入江春行 (20)
 宿題談義 仁村茂樹 (21)
 イモゴ土 坂本一裕 (22)
 クラス会 大中一郎 (23)
 続・教科書談義 水谷三郎 (16)
 実教歌壇 宮柊二選 (24)
 実教俳壇 石田波郷選 (25)
- 第13巻第9号：1961年9月1日
 (横浜国立大学附属図書館)
- 東京都生活指導主任研究会に参加して 小林星陵 (1)
 理科教育あれこれ 黒木義男 (6)
 産業人の育成を 栗田収 (9)
 教材としての珍古今集 獅子原正 (10)
 高校二年生 吉羽一夫 (12)
- 第13巻第10号：1961年10月1日
 (横浜国立大学附属図書館)
- 集団における知的硬教育 西平正喜 (1)
 世界史教育における「封建制」の意義 出羽振治 (4)
 世界史よりみた高校生の思考力 杉山勝 (7)
 数列について 広島幸正 (13)
 定時制の就職差別に抗議する 藤塚知成 (14)
 ありそうなのはなし 鈴木八郎 (24)
 ショートホームルームの実際 都立K商業高校 (26)
 さぼてんスピリッツ 四百森信 (16)
 歴史教育における文学の利用 打越賢郎 (17)
 師恩 糟谷奨 (18)
 若いころ 三井田吉次 (18)
 定時制分校から全日制分校へ 熱海公 (20)
 教えた子たちと山行きに思う 高橋孝 (20)
 石語抄 中村阿岐雄 (14)
 実教歌壇 宮柊二選 (22)
 実教俳壇 石田波郷選 (25)
- 第13巻第11号：1961年11月1日
 (横浜国立大学附属図書館)
- 能力別学習クラス編成の学習効果に対する一考察 相馬進 (1)
 大学には行きたいけれど 青柳忠克 (7)
 数学オリンピック 前川太郎 (29)
 斜角に生きる人々 須藤万治 (10)
 日本語の語順 加藤富一 (12)
 ここはこう教える 菊島晴夫 (25)
 夏ぬける 桑水流光大 (14)
 忘却の時代 日下部二郎 (30)
 すがれ釣り 北原康寿 (18)
 レポート雑感 前川一 (19)
 負けじ魂 葛谷茂夫 (20)
 第一印象 山浦篤 (21)
 創造の導き 岡田貞義 (22)
 宿直 及川量進 (23)
 実教歌壇 宮柊二選 (16)
 実教俳壇 石田波郷選 (17)

第13巻第12号：1961年12月1日

(横浜国立大学附属図書館)

高校生の科学意識	杉一郎 (1)
「修正点算定表」について	三浦勇二 (7)
たいくつなはなし	水谷清 (11)
定時制の健康指導について	中川勝義 (14)
青たん先生のある日	中村菊一 (28)
忘却の時代	日下部二郎 (30)
わたしの研究	たかはしりょうすけ (17)
商業実践と株式	山口利助 (16)
失策	萩原弘毅 (20)
単細胞の力を疑う	伴一幸 (21)
矢野峰人先生と私とテキストブック	関口充 (21)
統計教育の意義	五十嵐登 (22)
藤村堂まで	入江澄夫 (24)
教科書談義	水谷三郎 (18)
実教歌壇	宮柊二 (26)
実教俳壇	石田波郷 (27)

第14巻第1号：1962年1月1日

(愛媛大学附属図書館)

商業教育の近代化と改善と振興	青田賢次 (1)
明治時代の工業教育	前川太市 (29)
就職戦線異状あり	小林高樹 (4)
忘れられている現代史	森田定治 (8)
補講という名の授業	吉羽一夫 (10)
インサイド・テスト	嶋田得四郎 (12)
刑法改正と不敬罪に思う	荒井白石 (22)
貯蓄の善悪	松田和夫 (23)
作文教育の遅滞	中金満 (25)
徐福祭のこと	若林芳樹 (16)
日本語はむずかしい	山口新夫 (17)
アイヌの家	篠原千重子 (18)
ぼくの細道	阿部祖海 (20)
カップ談義	三井田吉次 (9)
うそコント	横浜たかし (13)
老けた円屋根亭にて	桜井薫 (21)
教科書談義	水谷三郎 (14)
実教歌壇	宮柊二選 (27)
実教俳壇	石田波郷選 (28)

第14巻第2号：1962年2月1日

(愛媛大学附属図書館)

生徒による問題作成と評価	松岡繁 (1)
地方労働力不足問題と就職指導に関連して	萱沼素 (4)
就職戦線異状あり	小林高樹 (8)
夜間工業高校教師生活	関口充 (26)
明治時代の工業教育	前川太市 (29)

読書会の成果と課題

一茶と松之山	中村匡男 (12)
青空教室	村山定男 (14)
白衣の天使と教え子	林一美 (20)
友人 I 氏	品川誠 (20)
かぼちゃ娘	後藤安孝 (21)
天狗の爪	大中一郎 (22)
英語	一之瀬尚 (23)
ある女教師	菅原裕 (23)
教科書談義	葛谷茂夫 (24)
実教歌壇	水谷三郎 (16)
実教俳壇	宮柊二選 (18)
	石田波郷選 (19)

第14巻第3号：1962年3月1日

(愛媛大学附属図書館)

科学賞をめざして	黒木義男 (1)
東京の教員とところどころ	帖佐満 (29)
高校二年生	吉羽一夫 (14)
漢字の宿命	山本正蔵 (4)
“しおり”学習の一年	菱刈隆永 (6)
ここはこう考える	菊島晴夫 (9)
「これからの数学教育」のために	片山茂 (11)
沖縄の商業教育事情	井上清 (25)
日本人と合理性	井口祐夫 (20)
宿直室の怪談	吉田三郎 (21)
学年末雑感	佐藤貢 (22)
骨董	小寺平吉 (23)
お茶のひとつこと	五十嵐登 (3)
非常持出の管理	塚本克巳 (4)
みごとな暴走	高橋健 (10)
教科書談義	水谷三郎 (12)
高校評判記	松沢聡 (19)
実教歌壇	宮柊二選 (27)
実教俳壇	石田波郷選 (28)

第14巻第4号：1962年4月1日

(愛媛大学附属図書館)

クライモグラフについて	福井英一郎 (29)
数学指導には成就感と希望を	小山内敏彦 (1)
食用油を例とした商品科教育の新しい進め方	木内一雄 (17)
東京の教員とところどころ	帖佐満 (22)
生徒 M のこと	水谷清 (8)
校長論	村越伸也 (4)
サラリーマンの顔	大貫徹也 (6)
文化祭の意義	須藤万治 (18)
女性意識の再評価	西山民雄 (19)
ピアノと鼻	萩原弘毅 (20)
試験と勉強	相原健助 (21)

英語四五年の感慨	内田信吉 (6)	付録 昭和38年度用教科書目録	
教科書談義	水谷三郎 (12)		
高校評判記	松沢聡 (14)	第14巻第7号：1962年7月1日	
実教歌壇	宮柊二選 (27)		(愛媛大学附属図書館)
実教俳壇	石田波郷選 (28)	ヒポクラテス考	井上清恒 (14)
		作文学習における生活文指導とその位置	
第14巻第5号：1962年5月1日			中金満 (1)
	(愛媛大学附属図書館)	地学の授業から	森俊彦 (6)
学生とスポーツ	長野嘗一 (1)	明治と昭和のあいだ	K・K生 (29)
英語と日本人	池田義一郎 (3)	高校の生徒数と卒業者の推計	村井蕃 (21)
教師生活五〇年	田中菊雄 (5)	生徒の感想に学ぶ	池田錬二 (10)
老教師慨嘆す	塩田良平 (8)	外人の思い出	横田弘之 (12)
女性と物理	橘高重義 (10)	ニトロベンゼン雑感	青柳忠克 (24)
地質学者の武蔵野散歩	大森昌衛 (12)	国民消費と食生活	山本正夫 (25)
モンペリエ	井上正雄 (14)	先祖からの研究	松山栄久 (26)
水は燃えながらである	白井俊明 (16)	春にそむいた部屋	山浦篤 (27)
高等生活と家庭科	氏家寿子 (18)	流れ	津吹市郎 (28)
生物物理学について	井上清恒 (20)	教科書談義	水谷三郎 (18)
誤植の話	梶木隆一 (23)	高校評判記	兼杉博 (17)
エチケット	大川正晃 (28)	実教歌壇	宮柊二選 (22)
初がつお	小松沢正徳 (28)	実教俳壇	石田波郷選 (23)
ぼけ随想	宮崎薫 (29)		
ごろう	山田晃 (31)	第14巻第8号：1962年8月1日	
静かな日直	及川量進 (21)		(愛媛大学附属図書館)
うそコント	中野忠 (31)	調査・統計について	伴一幸 (1)
教科書談義	水谷三郎 (24)	地図帳の地名表示の混乱	及川斉 (27)
実教歌壇	宮柊二選 (26)	外国の数学記号	奥村林蔵 (23)
実教俳壇	石田波郷選 (27)	明治と昭和のあいだ	K・K生 (28)
付録 昭和38年度用教科書目録		わかるということ	宇田川徳之助 (6)
		露伴の十七才	加藤富一 (8)
第14巻第6号：1962年6月1日		「子日」の口語訳	佐藤貢 (12)
	(愛媛大学附属図書館)	いろいろ	横田英男 (13)
就職指導と進学指導	槽谷奨 (1)	異説「春眠不觉晓」	村山芳郎 (15)
明治と昭和のあいだ	K・K生 (24)	ニックネームの味	三井田吉次 (16)
高校二年生	吉羽和夫 (28)	あるサゼッション	菊島晴夫 (17)
落語の成立	暉峻康隆 (10)	父兄の授業参観を望む	君島渡 (17)
実用英語	西島正 (12)	花と私	椎原松子 (5)
人間不信論	白石文男 (6)	教科書談義	水谷三郎 (10)
父の詩	若林芳樹 (8)	高校評判記	新城新一郎 (20)
水産高校における漁村問題の扱い方	湖城重仁 (20)	実教歌壇	宮柊二選 (18)
奥さんの勝ち	柳原吉次 (16)	実教俳壇	石田波郷選 (19)
済度しがたいサイド	寺尾八郎 (17)		
校長職はわるくない	K・J生 (18)	第14巻第9号：1962年9月1日	
爆笑の職員会議	山口新夫 (19)		(愛媛大学附属図書館)
窓辺	鳴海春平 (5)	道德教育論考	嶋田得四郎 (1)
教科書談義	水谷三郎 (14)	38年度使用新地理教科書を採点する	星陵野人 (26)
高校評判記	山口利助 (21)	岩魚考	小林二三雄 (30)
実教歌壇	宮柊二選 (22)	知床半島の景観	富永慶一 (8)
実教俳壇	石田波郷選 (23)	就職者の実態	武藤巖 (16)

全国産業教育担当指導主事研究協議会

横田弘之 (13)

工業高校におけるグループ学習についての反省

青山良平 (4)

伊勢物語についての覚書

竹林俊浩 (6)

リチャード三世とジンギスカン

加畑一夫 (20)

青年教師に告ぐ

小林文端 (21)

パチンコ

萩原弘毅 (22)

教員と秘密

絹野弘 (22)

高校全入問題を考える

友定節 (23)

教科書談義

水谷三郎 (14)

高校評判記

黒田寿郎 (12)

実教歌壇

宮柊二選 (24)

実教俳壇

石田波郷選 (25)

教科書関係のお知らせ

第14巻第10号：1962年10月1日

(愛媛大学附属図書館)

農業高校における学習指導上の問題とその対策

藤井清 (1)

地方高校の図書館のあり方

相馬進 (8)

教育の機会均等について

遠藤重利 (29)

人生のバランスシート

原田伴彦 (16)

工業高校における歴史教育について

咲山福栄 (6)

ふたたび数列について

広島幸正 (23)

指導しない指導力

重信一義 (24)

特別教育活動

岡田貞義 (25)

御座候

糟谷奨 (26)

問い

相原健助 (27)

知能の低い者は災害事故を起こしやすいか

小川朋次郎 (28)

教科書談義

水谷三郎 (14)

高校評判記

唐木健作 (13)

実教歌壇

宮柊二選 (20)

実教俳壇

石田波郷選 (21)

第14巻第11号：1962年11月1日

(愛媛大学附属図書館)

今日の韓国

井上清 (1)

越後への旅

山田健一郎 (26)

教育の機会均等について

遠藤重利 (30)

コルドバ懐古

前嶋信次 (14)

科学賞をめざして

湖城重仁 (10)

高校生の悩み

渋谷計二 (12)

社会科と現実の開き

安川三久 (8)

印旛高校の植物園をたずねて

編修部 (5)

出雲先生とその周辺

中村菊一 (24)

教師百態

武井時紀 (20)

定時制を三年制に

田島達哉 (21)

保護者会

小松原弘 (22)

実教歌壇

宮柊二選 (18)

実教俳壇

石田波郷選 (19)

高校評判記

平野多久治 (23)

第14巻第12号：1962年12月1日

(愛媛大学附属図書館)

今日の韓国

井上清 (29)

職業教育の現代的意義

滑川西之助 (1)

思想史をわかりやすくする方法

椋川一朗 (6)

座談会 高校における倫理教育の意味と独自性

務台理作・木下春雄・宇野一・後藤二郎・

松元俊雄・丸山三郎・渡辺寄喜 (14)

国民栄養と食品消費

山本正夫 (28)

教科書談義

水谷三郎 (12)

実教歌壇

宮柊二選 (5)

実教俳壇

石田波郷選 (11)

(おだか すすむ 本学准教授)

(まるやま つよし 本学非常勤講師)

